

越谷市内の日本語教室アンケート集計結果

【調査の概要】

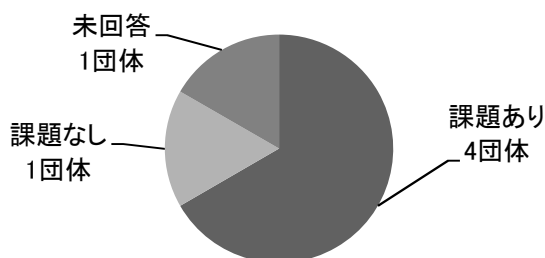
- ① 調査目的： 多文化共生の更なる推進に向けた施策を体系的にまとめる指針・プラン等の策定に向け、日本語教室として地域の外国人市民に日々向き合っている現場のボランティアと今後に向けた意見交換を実施するため、事前に現状及び意向等を調査する。
- ② 調査対象： 6団体
- ③ 調査依頼： 各団体の代表者へ配布し、郵送または直接回収
- ④ 調査期間： 平成 29 年 10 月 31 日～11 月 29 日
- ⑤ 回答数： 5団体 22 枚（※当初団体で1枚の回答を想定していたが、ボランティア個々の考えをお聞きするため、1人1枚書いていただいた。未回答団体については1度督促したが、回答を得られなかった。）

1. 団体名と活動開始日、学習者数をご記入ください。

	団体名	活動開始日	学習者数
1	みんなで日本語	未回答	未回答
2	越谷国際交流サークル	1997 年 9 月	
3	JSLP サポートクラス		1 回 1～2 人程度(週 3 回)
4	多文化こども学習塾	2006 年	1 回 7～8 人程度
5	リンガル・こしがや	2015 年	1 回 7 人程度
6	にほんごで GO !	2016 年	1 回 5～12 人程度

(※アンケート用紙の不備で質問項目にばらつきがあり、集計内容が統一できておりません。大変失礼しました。)

2. 日本語教室として活動しているなかで、現在抱えている自分たちだけでは解決が困難な課題はありますか。抱えている課題は、どのような内容ですか。



	団体名	解決困難な課題	課題の内容(※団体2と6については上位2つ)
1	みんなで日本語	未回答	未回答
2	越谷国際交流サークル	ある	教室会場の確保 打ち合わせ等のための会場の確保
3	JSLP サポートクラス	ある	教室会場の確保 打ち合わせ等のための会場の確保
4	多文化こども学習塾	ある	教室会場の確保 新規ボランティアメンバーの確保
5	リンガル・こしがや	ない	ない
6	にほんごで GO !	ある	教室会場の確保 ボランティアメンバーの人材育成

★個人別集計：「自分たちだけでは解決が困難な課題の内容」(22 人分)

得 票 順	合計	内訳			
		越谷国際 交流サ ークル	JSLP サ ポートク ラス	多文化こ ども学習 塾	にほん ごで GO !
① 教室会場の確保	17	9	1	1	6
② 一緒に活動する新規のボランティアメンバーの確保	10	8	0	1	1
② 打ち合わせ等のための会場の確保	10	9	1	0	0
④ 日本語の教え方の上達等、ボランティアメンバーの人材育成	9	4	0	0	5
⑤ 既存の日本語学習者の定着	7	5	0	0	2
⑥ 新規の日本語学習者の確保	4	2	0	0	2
⑥ 活動に係る資金の確保	4	0	0	0	4
⑧ 学習者から持ち込まれる生活相談への対応	2	0	0	0	2
⑨ その他(具体的に:教材の保管場所)	1	1	0	0	0

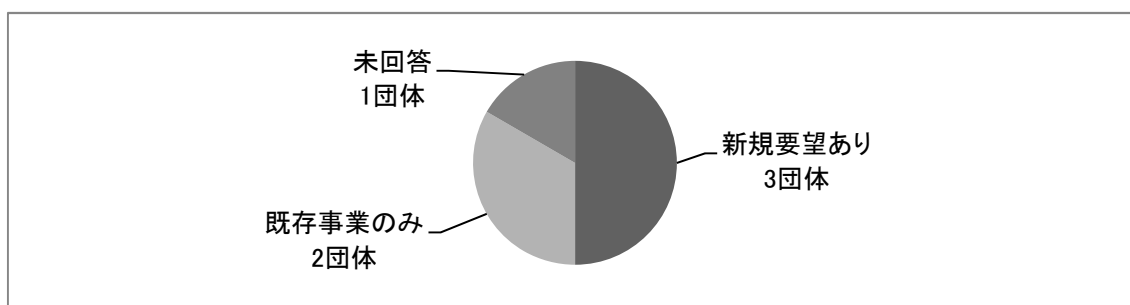
★課題上位4つについて:

- ① 「教室会場の確保」については、4団体全てに共通した課題であるとともに、個人別集計でも一番問題視されている。
- ② 「新規ボランティアメンバーの確保」については、3団体に共通した課題であるとともに、個人別集計では2番目に問題視されている。
- ③ 「打ち合わせ会場の確保」については、2団体に共通した課題であるが、越谷国際交流

サークルにとっての一番問題視されている課題の一つとなっている。

- ④ 「ボランティアメンバーの人材育成」については、2団体に共通した課題であるが、にほんごで GO ! にとっては2番目に問題視されている。

3. 団体としてこれからも活動をしていくために、市に何らかの役割を望みますか。望む場合はどのような内容ですか。



	団体名	市に望む役割 (※団体2と6については上位 4 つ)
1	みんなで日本語	未回答
2	越谷国際交流サークル	〔継続〕全日本語教室の紹介チラシの作成 〔継続〕市役所に来庁する外国人市民への周知 〔継続〕市公式ホームページでの外国人市民への周知 〔新規〕日本語の指導技術向上に向けた研修の開催
3	JSLP サポートクラス	〔継続〕全日本語教室の紹介チラシの作成 〔継続〕市役所に来庁する外国人市民への周知 〔継続〕市公式ホームページでの外国人市民への周知
4	多文化こども学習塾	〔継続〕全日本語教室の紹介チラシの作成 〔継続〕市役所に来庁する外国人市民への周知 〔継続〕市公式ホームページでの外国人市民への周知 〔新規〕ボランティアメンバーの募集協力
5	リンガル・こしがや	〔継続〕全日本語教室の紹介チラシの作成 〔継続〕市役所に来庁する外国人市民への周知 〔継続〕市公式ホームページでの外国人市民への周知
6	にほんごで GO !	〔継続〕全日本語教室の紹介チラシの作成 〔継続〕市役所に来庁する外国人市民への周知 〔継続〕市公式ホームページでの外国人市民への周知 〔新規〕日本語の指導技術向上に向けた研修の開催

★個人別集計：「市に望む役割」(22 人分)

得票順	合計	内訳					
		越谷国際 交流カー クル	JSP サ ポートク ラス	多文化に ども学習 塾	リンガ ル・こし がや	にほん ごで GO!	
①	〔引き続き〕市役所に来庁する外国人市民への周知	17	9	1	1	1	5
②	〔引き続き〕市公式ホームページでの外国人市民への周知	15	8	1	1	1	4
③	〔引き続き〕全日本語教室の紹介チラシの作成	14	7	1	1	1	4
④	日本語の指導技術向上に向けた研修の開催	13	7	0	0	0	6
⑤	ボランティアメンバーの募集協力	10	6	0	1	0	3
⑥	補助金の交付	6	2	0	0	0	4
⑦	他の日本語教室とのネットワークづくり	4	2	0	0	0	2
⑧	その他（会場の確保、優先使用、無料化等）	2	1	0	0	0	1
⑨	その他（市職員の出張講座）	1	1	0	0	0	0
⑩	行政に望むことは特になし	1	1	0	0	0	0
⑪	教室の運営に係る相談対応・アドバイザーの派遣	0	0	0	0	0	0

★分類別要望について：

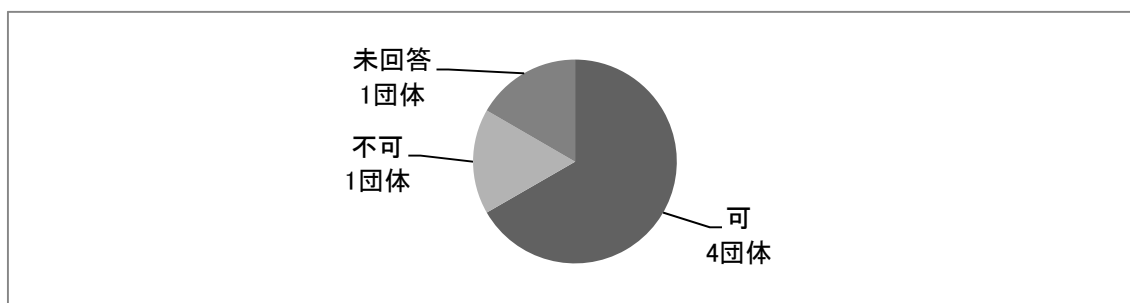
- 既存の3事業「市役所に来庁する外国人市民への周知」・「市公式ホームページでの外国人市民への周知」・「全日本語教室の紹介チラシの作成」については、5団体全てに必要性を認められており、個人別でも上位3つを占めている。
- 新規の要望として「日本語の指導技術向上に向けた研修の開催」については、5団体中2団体から挙げられたが、にほんごでGO！にとっては既存3事業以上に必要だとされており、新規要望のなかでは個人別で最も要望数が多かった。
- 新規の要望として「ボランティアメンバーの募集協力」については、5団体中3団体から挙げられ、個人別に見ても2番目に要望が多かった。
- 「補助金の交付」・「他の日本語教室とのネットワークづくり」・「会場の確保」については、5団体中2団体からのみ挙げられた。

4. 我が国における生活者としての外国人に対する日本語教育については、文化庁が所管となっていますが、団体として文化庁と連携していますか。

	団体名	文化庁との連携
1	みんなで日本語	未回答
2	越谷国際交流サークル	日本語教育実態調査に回答している
3	JSLP サポートクラス	日本語教育実態調査に回答している
4	多文化こども学習塾	文化庁との連携は特にない
5	リンガル・こしがや	文化庁との連携は特にない
6	にほんごで GO !	文化庁との連携は特にない

- 文化庁は、日本語教材の開発や研修、助成金の交付等を行っているが、活用している団体はなかった。

5. 市役所主催の意見交換の場に、ご出席いただくことは可能ですか。意見交換の場で議題としたいテーマはありますか。その他、市役所への要望・意見等をご記入ください。



	団体名	意見交換会への出席
1	みんなで日本語	未回答
2	越谷国際交流サークル	可(4)、不可(1)、わからない(4)
3	JSLP サポートクラス	可
4	多文化こども学習塾	可
5	リンガル・こしがや	不可
6	にほんごで GO !	可(6)、わからない(1)

★団体別個人集計:「議題としたいテーマ、市役所への要望・意見等」

〔越谷国際交流サークル〕

- 定まった教室や教材保管の場所等、教室を開ける環境が整っていることを望みます。また、他の自治体の実態等もわかれば、参考になることがあるかと思います。今の私達のメンバーでは、当日に日本語教室に参加するだけで手一杯という現実です。スタッフは年々高齢化しています。
- 以前は打ち合わせの出来る部屋があった(活動室)。復活してもらいたい。教材を保管するロッカーを活動場所である中央市民会館に設置してほしい。
- PM12:00～1:00 までのミーティングの場所を市として援助して下さること
- 市の積極的な協力・援助

〔JSLP サポートクラス〕

- 小中学生の場合、日本語能力の問題と共に、教科の内容(歴史、数学の説明文)等の方が重きをおく授業を希望される。家庭教師状態になることをどうしたら良いか?意見交換したいと思う。

〔多文化こども学習塾〕

- テーマ:「日本語支援の行政と市民の協働について」
- その他:ななサポの活動室利用について、市 or センター主催の事業とこちらの定例活動日が重なり、部屋が使えないことが何度かあった。できれば避けてもらえないか。

〔リンガル・こしがや〕

- 「リンガルこしがや」は『まちづくり』のために活動しているわけではありません。あくまでも日本語に困っている外国の方のお手伝い集団です。趣味の集まりにすぎません。市内にある他の日本語教室や国際交流協会とは、温度差があるように思います。

〔にほんごで GO!〕

- 教室会場が一定でなく毎週変わるので大変。例えばサンシティーの会議室を毎週決まった曜日と時間に無料か割安で提供していただく事はできないのでしょうか?
- 就学児童への日本語支援を学校まかせではなく、市の方でして欲しい。
- ①無料または安い会場(できれば市の施設)を紹介してほしい ②ボランティア希望者を市も募集し、各日本語教室に斡旋または紹介をしてほしい
- この活動に行政側がもう少し積極的に関わってほしい(研修会や他団体との交流会の開催、補助金の支給、せめて会場費やコピー代は無料に、等々)。研修会一年2回、春日部市主催の研修会に参加している。
- 日本語教室間の交流。日本語指導に関しての講習会や講演会の複数回(定期的な)の開催。